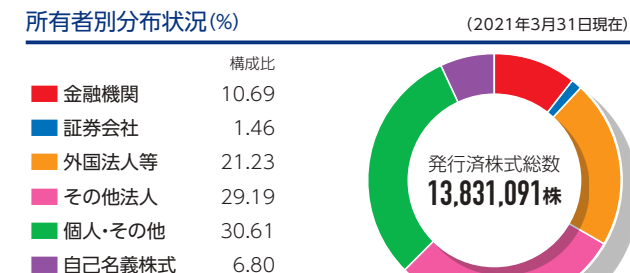


SHAREHOLDERS INFORMATION / SHAREHOLDERS MEMO

株式状況	(2021年3月31日現在)
発行可能株式総数	19,900,000株
発行済株式総数	13,831,091株
株主数	11,851名

大株主(上位10名)	(2021年3月31日現在)	
株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
平澤 創	4,810,038	37.31
RMB JAPAN OPPORTUNITIES FUND, LP.	1,255,810	9.74
NOMURA PB NOMINEES TK1 LIMITED	568,460	4.40
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	425,900	3.30
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	423,400	3.28
株式会社第一興商	367,363	2.84
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	275,048	2.13
MSCO CUSTOMER SECURITIES	225,000	1.74
吉本興業ホールディングス株式会社	206,870	1.60
NPBN-SHOKORO LIMITED	171,840	1.33

※当社は自己株式を940,655株所有しておりますが、上記大株主から除いております。
 ※持株比率は自己株式(940,655株)を控除して計算しています。
 ※持株比率は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。



※発行済株式総数 13,831,091株の構成比率です。
 ※構成比の表示単位未満の端数は、四捨五入して表示しています。

株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031
公告方法	電子公告 https://www.faitth.co.jp/ir/koukoku/ ただし、電子公告による公告をすることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

お知らせ

- 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会には、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関にお問合わせください。
 なお、三井住友信託銀行株式会社各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行株式会社の本支店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込をご指定の株主様と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになれる株主様列にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の添付書類としてご利用いただけます。(株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引先の口座管理機関(証券会社等)へお問合わせください。)

免責事項

本報告書に記載されている将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、様々な要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。
 本報告書に記載している会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。



ウェブサイトのご案内

フェイス・グループ各社のサービスや注目のコンテンツ情報、最新トピックス等を掲載しています。
<https://www.faitth.co.jp/>



「Thumva™」公式ウェブサイトのご案内

オンライングループ視聴が可能な新感覚ライブ配信サービス「Thumva™」(サムバ)の情報を掲載しています。
<https://thumva.com/>



株式会社フェイス

〒604-8171
 京都市中京区烏丸通御池下る虎屋町
 566-1 井門明治安田生命ビル
<https://www.faitth.co.jp/>

お問合わせ先 **TEL.** 075-213-3933
FAX. 075-213-3833

Faith

Annual Report

2020.4.1 - 2021.3.31

株式会社フェイス | 第29期 営業のご報告

世界の人たちの人生を豊かに彩る 「未来のエンタテインメント」の創造へ

積極的に選択できる「日常」の 多様性をいかに創造するか

コロナ禍でアーティストの活動フィールドがネット上に限られる中、SNS時代のファンクラブ「Fans®」やライブ配信プラットフォーム「Thumva™」といった当社サービスが重宝されました。また家族で過ごす、いわゆる巣ごもり時間が増えたことで、日本コロムビア株式会社ではキッズ・ファミリー向けコンテンツが好調に推移したほか、NHKの連続テレビ小説「エール」の主人公のモデルであった古閑裕而氏関連作品の売上が伸びました。その一方で、ライブやロケーションビジネスは厳しい状況となっています。

音楽やアーティストに触れる接点の多様化の一つとして、「気軽にライブ体

験できる」という新しい価値観を提案する「Thumva™」は、昨年4月のリリース直後から支持されているものの、リアルライブの価値の置き換えまでにはいたっていません。コロナ禍での代替ツールとしての役割を超え、日常的な楽しみ方の選択肢の一つとして定着させるには、その進化の方向性が重要になります。

例えば、昭和の風景として、当時は自宅で家族と一緒に野球のTV中継を見るのが日常的、球場観戦は特別なこと、というスタイルが一般的でした。一方近年では、足繁く球場やスタジアムに通う、スポーツバーで仲間と観戦するのが日常という人も増えています。ほかにも、有料ネット中継で観戦するスタイルや、結果やダイジェストのみを確認するというスタイル等、楽しみ方の選択肢が増え、多様な「日常」が形成される時代に



代表取締役社長

平澤 創

なりました。

音楽シーンでも、スペイン風邪の流行時に代替手段として登場したレコードが楽しみ方の選択肢の一つとして定着し、日常的な音楽との接点を多様化させる契機となりました。そういった意味では、今回のコロナ禍において、これまで会場に足を運ぶだけがライブ体験の機会だったところから、ライブ配信というサービスが数多く世に登場したことは、さらなる多様化に向けての第一歩と捉えることができます。しかし、制限下での代替ツールの役割に止まっているのは新たな日常を創るまでには至らないため、さらに個々の嗜好に沿った楽しみ方の提供も含め、サービスのバリエーションの追求が必要だと思えます。

ライブが放つ「非日常」の特別感が エンタテインメントの価値の真髄

一方で、リアルライブの価値がさらに高まったとの確信もあります。これまで日常に埋もれがちだった旅行やライブ体験の本来持つ「特別感」が際立ってきました。そして「そもそもエンタテインメントとは何か」を改めて問うことが、数年先を見据え、エンタテインメントの多様性を考える上で、非常に重要な視点になってきます。

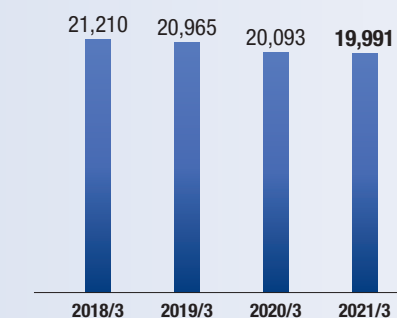
エンタテインメントと聞けば、すぐに音楽やライブ等のコンテンツの話に向

きがちですが、その本質は「非日常」であるという前提を忘れてはいけません。現在のコロナ禍で、マスクなしでの外出や友人との食事の時間そのものが「非日常」の価値を持つ状況になる中で、従来の日常生活におけるリアルな営みすべてが、エンタテインメントの領域になってきたとも言えます。しかも、その「非日常」を選ぶ基準としては、絶対的な質や体験が求められます。つまり「ある体験をする意味は何か」という「意味」に「価値」が求められ、それはコロナ禍より特別な体験への関心を一層加速させることになるはずで

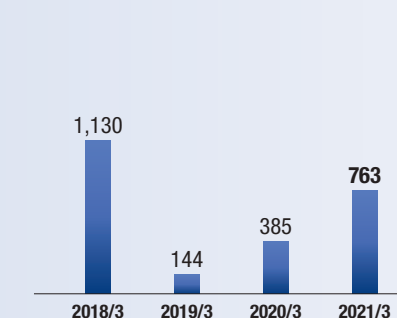
具体的例として、コロナ禍以前から、音楽の都・ウィーンを訪ねる日本人は減り、ウィーンへの直行便はコードシェア便のみになっていました。これは、日本は世界でもクラシックコンサートの開催数も多く、ウィーンを訪れなくても世界的なオーケストラの演奏を聴くことができるからです。特に東京は、東京交響楽団をはじめ、日本オーケストラ連盟の正会員だけで9つの楽団があり、世界でも群を抜いてクラシックを聴く良質な機会に恵まれています。そうして養われた文化水準の高さを背景に、海外から招聘されるオーケストラは一度の来日で複数都市において、定期公演を重ねることができるという好循環が生まれ出されてきました。そうした中で、コロナ禍前に見られたウィーン直行便運行

連結財務ハイライト

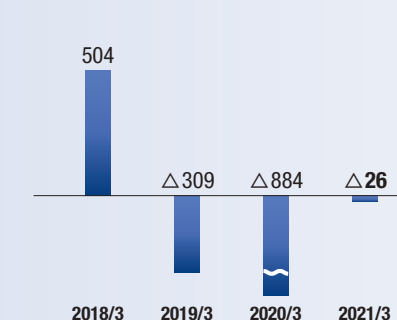
連結売上高 (単位:百万円)



連結営業利益 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する 当期純利益 (単位:百万円)



ツアーでは、ウィーン音楽の殿堂・楽友協会の黄金ホールでの演奏鑑賞といった、入手が難しく、かつ、その場に身を置かなければ体験できない貴重なプランがセットされており、その価格は非常に高額であったにもかかわらず、申込者が多かったと聞いています。

リアル体験の最たるライブが放つ、緊張感を含めた空気感がもたらす体感は計り知れないものがあり、コロナ禍はその重要性を改めて顕在化させる機会となりました。またモノの所有に対する考え方について、高価でも自らの欲求に合う消費行動を取る流れに拍車がかかると思われます。フェイス・グループとしても、単に音楽を作り、流通させるという段階から、より大きな視点から多面

的・多層的に考える中で、数多くのテーマが見えてきました。

「個」のメディア化が生む新しいコミュニケーションの形

発信の主力フィールドがネットになると、アーティストに限らず、いよいよ「個」がメディア化する時代になります。「Fans[®]」はまさにその一端を担っているとの認識ですが、さらに言えば、O2O^{*}をはじめとする店舗においても対面コミュニケーションの価値が確実に高まっています。各種還元ポイントも単に貯める・使うといった視点だけではなく、コミュニケーションツールの一つと捉えれば、その可能性はさらに広がります。

しかもポイントは、クリプトカレンシー（暗号資産）におけるトークン（代用貨幣）に他ならず、そうした新しいテクノロジーとの親和性とも相まって、ポイント事業を担うグッドポイントにおいても、重要な役割を果たす道筋が描きやすい状況になってきたと認識しています。

引き続き「未来のエンタテインメント」という観点から、これまで人は何を楽しみとして体験し、どういったことに感動してきたのか等を改めて拾い直し、感性の掘り起こしの分析・検証を進める一方で、テクノロジーの進化もウォッチし、その掛け合わせによる新たなサービスの創造を追求してまいります。

会社とは人が交流する場であり自席で仕事をする場ではない

本年2月に主要グループ会社の拠点を集約するに際し、南青山オフィス进行全面リニューアルしました。仕事内容に合わせて、作業するスペースやスタイル等を選ぶことができる働き方、ABW (Activity Based Working) の考え方を取り入れ、新しい時代の価値観にあった、自律的な働き方を実現するオフィスを指向しています。

一人でする仕事であれば、会社に出勤する必要はなく、またオンラインでのコミュニケーションが機能的に有効であれば、場所に関わらず仕事はかどる環

境を選択すべきです。一方で、リアルなコミュニケーションを取りたい時に集まれる場所を用意しておく、それがオフィス本来の役割であると考え、機密情報を扱う業務の担当者以外の社員のために、基本的に自由に集まれるオープンスペースのほか、特定の目的を持って集える、コンセプトの異なるルームを多数設置したことが特徴的です。

また、グループ会社の拠点を集約させたことで、従来、接点のなかったメンバーが同じ空間を介して顔を合わせ、また日本コロムビアの創業当時の写真から、レコードやCD、蓄音機等々、またグループ各社の歴史が見えるギャラリースペースを意図的に数多く設置したことで、フェイス・グループという創造の空間で異文化がミックスされ、自然発生的かつ自発的なコラボレーションの創出が期待される面白さもあります。

足下では、目に見える業績以上に、フェイス・グループが目指す向きに世の中が進んでおり、さらに未来創造に向かっていくためのテーマや課題も明確になり、新事業のプランニングに関して、非常に進展がもたらされることになりました。コロナ禍が過ぎ去るのを待つのではなく、むしろ制限のある状況下においても、確実に歩を進めておりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

*O2O: 「Online to Offline」の略で、ネットからネット外のリアルでの行動を促す施策



できないことにおつかったとき
立ち向かう気持ちが強く湧いた
自分は音楽で何かを表現することが
純粹に好きなんだと――

MORISAKI WIN

音楽は自分の伝えたいことをストレートに伝えられる表現

――音楽との出会いについて教えてください。

僕は日本に来る前、小学4年生まで故郷のミャンマーで祖母と暮らしていました。祖母は自宅で英語塾を開いていて、ここでは歌を通じて言葉を教えていたんです。多くは童謡でしたが、1980～90年代のポップスもありました。それが自分にとっての音楽との出会いですね。ただ、アーティストというものを意識するようになったのは、日本に来て芸能活動を始めてからです。

――グループ活動を経てソロデビューされました。心境の変化はありましたか？

自分と向き合う時間が増えました。ソロアーティストとしてメジャーデビューした昨年は、新型コロナウイルスの流行で自粛を余儀なくされたこともあり、自分が表現したいことは何なのだろう？ 何のために歌うのか？ それを改めて考えることが多かったと思います。

――自分と向かい合っただけで見てきたのはどんなことでしたか？

いろいろありますが、一番は音楽を通じて表現することが純

粋に好きなんだということです。今回のアルバムには作曲でも参加させてもらったのですが、これまでは独学でやってきたから、できないことに直面するんですよ。そんなときに立ち向かっていく気持ち、もっとうまくになりたいという気持ちが湧いてきて、「音楽が好きなんだ」と実感しました。俳優の仕事もしていますが、演技は作品の持っているメッセージを自らの身体を使って代弁する間接的な表現。そこに面白さを感じることも多いのですが、音楽は自分の表現をストレートに伝えやすく、その部分に惹かれるんですよ。

刺激的だった一流の制作陣との仕事

――1stアルバム『Flight』の制作はいかがでしたか？

今回は明確なテーマはあえて設けず、僕が伝えたいことを少しずつ日本コロムビアのスタッフの方々に共有させてもらいながら、アルバムの輪郭をつくっていきました。例えば2曲目の「Fly with me」は、僕が愛するエアバス社のA380という飛行機がテーマ。ミャンマーの祖母の英語塾にはパイロットを目指す人たちが多く、そうした方々に接することで飛行機が好きになったのですが、その話を制作陣に伝えながら、ゼロ

からつくりあげていきました。

――そんな原体験も作品に生かされているんですね。自身が制作に深く関わるがゆえの苦労もあったのでは？

一流の制作陣の方々と一緒に仕事をする機会をいただき刺激を受ける一方で、足りないものを感じることもありました。自分が作曲した楽曲を様々なやりとりをしながら上げていく過程ではつらい面も、無力感もありました。ただ、最終的な形まで創りあげることができた今は、これまでない達成感があります。――これから実現したいことはありますか？

まずライブをやりたいですね。作品はできあがった直後は「旅立っていった我が子」のようで少し距離感があるのですが、ライブをやってファンの皆さんの反応を目にしたとき、もう一度自分の元に帰ってくる感覚があるんです。また、ゆくゆくは自分のルーツであるミャンマーを含めたアジアでツアーを実現させたい。ミャンマーの子どもたちは、大きな夢を描くことが難しい環境で生活していますが、夢を見て努力すれば、一歩ずつだけ近づいていけるんだと思ってもらうきっかけになればと思います。ミャンマーはいまだ大変な状況にありますが、必ずまた立ち上がる日がくる。そのときにはチャリティなどを通じて子供たちを支援したいですね。常々考えていたことではありますが、今回その思いを強くしました。

――最後に株主様へメッセージをお願いします。

いつも、ご支援ありがとうございます。フェイス・グループに、このたびMORISAKI WINも加わらせてもらいましたので、さらにご期待いただければ嬉しいです。アジアツアーは必ず実現させます！ 応援よろしくをお願いします。



【Flight】

2021年5月26日発売
初回盤【CD+DVD】5,500円(税込)
通常盤【CD】2,200円(税込)

メジャーデビューシングル「パレード - PARADE」、2ndシングル「Love in the Stars -星が巡り逢う夜に-」を収録した1stメジャーアルバム。本人がコンセプトワークから参加し、作詞、作曲を手がけた楽曲も収録された意欲作。タイトルは本人が大好きだという「飛行機」からインスピレーションを得たもの。

PROFILE 1990年、ミャンマー生まれ。小学4年生のときに来日し、中学時代より芸能活動を開始。2008年にダンスボーカルユニットに加入しメンバーを務める。俳優としても、2018年にステイプン・スビルバーク監督作品「レディ・プレイヤー1」の主要キャストに抜擢されるなど国際的に活躍。2020年7月には1stシングル「パレード - PARADE」でソロアーティストとしてメジャーデビュー。アジアから世界を目指すエンターテイナーとして注目を集めている。

新しく多様な働き方を実現する 新オフィスへと全面リニューアル

「アクティビティー・ベースド・ワーキング (ABW)」*の考え方を取り入れ、南青山オフィスを全面的にリニューアルいたしました。また、グループ力の強化、経営の効率化と収益性の向上を目的とし、日本コロムビア株式会社と株式会社ドリーミュージックが、南青山オフィスに移転いたしました。テレワークによる勤務体制への移行後、オフィスは自席で仕事をする場から、「皆で集まる」場所へと変化を遂げました。社員一人ひとりが「働くことそのもの」の意識を変革し、創造を育む拠点へと育てていながら、多様で効率的な新しい働き方を実現してまいります。



*仕事内容に合わせて、作業するスペースやスタイルなどを選ぶことのできる働き方。

「Fans'®」ファンクラブ開設者数が 6,000人を突破

Twitterを活用し、誰でも簡単にファンクラブを開設できるファンクラブプラットフォーム「Fans'®」の開設者数が6,000人を突破し、サービス開始後、1年9ヵ月で業界No.1*に成長しています。ファンクラブ開設者は、アーティストやタレントをはじめ、スポーツコーチや映像クリエイター、ファッションコーディネーターなど多岐に渡っています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で活動困難となったエンタテインメント業界やスポーツ業界の活性化を目指し、今後もクリエイターがファンとダイレクトにつながることで提供してまいります。



*2021年4月当社調べ

NEW RELEASE 新作紹介

7ORDERのメジャーファーストシングル&ライブDVDが発売

2021年1月のメジャーデビュー以降、ワンマンツアーを全公演完売させた7ORDER。メジャーファーストシングルは、ロックナンバー「雨が始まりの合図」と、ORANGE RANGEのNAOTO・HIROKI提供のポップなサマーチューン「SUMMER様様」。日本武道館公演を収録した「WE ARE ONE」も同時発売。

7ORDER「雨が始まりの合図 / SUMMER様様」

2021年7月7日発売 / 【雨盤 (CD+DVD)】2,530円 (税込) 【雨盤 (CD+アンブレラマーカー)】3,300円 (税込) 【通常盤】1,430円 (税込)

「WE ARE ONE」

2021年7月7日発売 / 【DVD】9,570円 (税込) 【Blu-ray】10,670円 (税込)



ラッキー待望のセカンドアルバムをリリース！

2014年東京を拠点に活動開始し、「世界中の毎日をおどらせる」をテーマに掲げた6人編成のエレクトロポップ・バンドLucky Kilimanjaro (ラッキーキリマンジャロ)。スタイリッシュなシンセサウンドを軸に、多幸感溢れるライブパフォーマンスは唯一無二の存在感を放つ。2021年3月に、セカンドアルバム『DAILY BOP』を発売。

LUCKY KILIMANJARO「DAILY BOP」

2021年3月31日発売 / 【CD】2,970円 (税込)



「わんニャンペットショップ」がNintendo Switchに登場

女の子たちがあこがれる職業を疑似体験できるアドベンチャーゲームシリーズ「あこがれガールズコレクション」の人気タイトル「わんニャンペットショップ」が、Nintendo Switchに登場。ペットショップのお仕事体験やペットといろいろ遊べる新機能「プレイルーム」など、「わんニャン」とのふれあいを楽しめます。



©2021 NIPPON COLUMBIA CO., LTD.

Nintendo Switch「わんニャンペットショップ かわいいペットとふれあう毎日」

2021年7月15日発売 / 5,280円 (税込)

「あつまれ どうぶつの森」サウンドトラックCDが発売

Nintendo Switchの大人気ソフト「あつまれ どうぶつの森」のサウンドトラックCDが発売。ゲーム内を彩るBGMを収録した「BGM集」、人気キャラクター「とたけけ」による楽曲の数々をインスト版で収録した「とたけけミュージック集 Instrumental」、この2作を豪華BOXに収めた「初回数量限定生産盤」の3種類になります。



©2020 Nintendo
*Nintendo Switchは任天堂の商標です。

「あつまれ どうぶつの森 オリジナルサウンドトラック」

2021年6月9日発売 / 【BGM集】4,950円 (税込) 【とたけけミュージック集 Instrumental】4,400円 (税込) 【初回数量限定生産盤】11,000円 (税込)

会社概要

株式会社フェイス	(2021年3月31日現在)
事業内容	コンテンツ配信プラットフォームの開発 およびビジネスモデルの構築
設立	1992年10月9日
資本金	32億1,800万円
上場取引所	東証1部 (証券コード4295)
従業員数	104名 (連結433名)

取締役および監査役	(2021年6月25日現在)
代表取締役社長	平澤 創
取締役副社長	吉田 眞市
専務取締役	中西 正人
社外取締役	別所 哲也
社外取締役	正宗 エリザベス
社外取締役	水戸 重之
社外取締役	瀧口 匠
常勤監査役	長吉 晋
社外監査役	清水 章
社外監査役	菅谷 貴子

アドバイザー・ボードを構成する社外有識者	(2021年4月1日現在)
島田 精一	元日本ユニシス株式会社 代表取締役社長 株式会社お金のデザイン 社外監査役/黒澤合同事務所 顧問/株式会社ISE 最高顧問 学校法人津田塾大学 理事長/国立大学法人千葉大学 経営協議会委員・学長選考会委員 学校法人根津育英会武蔵学園 評議員/武蔵学園後援会 会長 内閣官房 産業遺産に関する有識者会議 委員 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団 評議員 一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト 特別顧問 公益財団法人日伊協会 会長/公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 評議員 日本ヴェルディ協会 理事
堀 裕	堀総合法律事務所 代表弁護士/日本ローエイシア友好協会 常務理事 前内閣府 公益認定等委員会 委員/みずほグループ各社 顧問弁護士 株式会社パンナグループ 特別顧問/在日ロイヤル・ダッチ・シェルグループ各社 監査役 国立大学法人千葉大学 理事・副学長、経営協議会委員 サハリンNGサービス株式会社 監査役/公益財団法人国連大学協力会 監事 公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構 理事 公益財団法人沢沢栄一記念財団 理事/日本郵政グループ各社 顧問弁護士

フェイス・グループ

コンテンツをユーザーに届けるためのあらゆる機能を有し、ワンストップサービスとしてプラットフォーム化できる企業グループです。



*本文書に記載されている商品・サービス名は株式会社フェイスの日本またはその他の国における商標または登録商標です。